

令和6年度 指定管理者の管理運営に関する評価シート

1. 指定管理者（施設）の基本情報

施設名	箕面市立多世代交流センター
指定管理者	社会福祉法人ひじり福祉会
指定期間	令和5年（2023年）4月1日から令和15年（2033年）3月31日
施設概要	箕面市立多世代交流センター
市支出額	指定管理委託料・・・54,400,000円（風呂あり）
	指定管理委託料・・・45,550,000円（風呂なし）

2. 事業の実施状況

高齢者福祉機能「松寿荘」事業	高齢者の健康づくりや生きがいづくり
子育て支援機能「おひさま」事業	子育て中の若い世代のサポート
多世代交流に資する事業	高齢者から子どもまで世代を超えたふれあいの場を提供

3. 利用者の満足度

（1）利用者アンケートの状況

アンケートの結果概要	令和6年6月25日～令和6年7月31日実施 回答数169件 各項目で「満足」または「おおむね満足」を選択されたかたの割合の平均は約90%でした。
------------	---

（2）利用者等の意見交換会の状況

意見交換会の結果概要	令和6年12月6日、4団体に参加いただき、意見交換会を開催しました。
------------	------------------------------------

（3）利用者からの意見を反映させる取り組み

取り組みの実施状況	令和6年度（2024年度）箕面市立多世代交流センター利用者アンケートの「集計」及び「自由記述ご意見に対する指定管理者の考え・対応」のとおり
-----------	---

4. 収支状況

令和5年度 活動収益 55,218,413円	活動費用 47,179,349円
活動増減差額 8,039,064円	活動外収益差額 36,018円
特別増減差額 ▲2,000,001円	当期活動増減差額 6,075,081円
(事業活動計算書より)	

5. 特別提案の状況

地域に開かれた活動の展開	毎年、センターまつりや盆踊りではおひさまルームの利用者にも親子で出演していただき、多世代交流を深めるよい機会となってきましたが、新型コロナウイルスの感染拡大にともない、令和2年2月19日以降、箕面市の指示等により、断続的に多世代交流センターの各活動等も停止や休止せざるを得ない状況が続いていましたが、新型コロナウイルスが2類から5類へ変更され、コロナ感染が一定収束したことに伴い、各種イベントも復活し、センターまつりは昨年に続けて2年連続の開催となりました。また、人気の高い盆踊りも、暑さ対策の観点から時期を変え5年ぶりに開催しました。また軽音グランプリやウィンターコンサートなど地域に密着した音楽イベントをはじめ、ボランティアによる日常的なミニコンサートや歌声広場など、利用者をはじめ地域の多くの方々に楽しんでいただけるような活動も再開したところです。 センター主催教室としては、5年度は「折り紙教室」を再開講し好評でした。6年度は「ペーパークラフト教室」と「笑いヨガ教室」の開催や、「マーケットリーアート体験会」も実施し好評を得ています。なお、箕面市社会福祉協議会が推進している「子ども食堂」と「支えあいステーション」の実施も計画中です。 これからも地域に開かれた魅力ある取り組みを考えてまいります。
フリーマーケットの開催	利用者協議会の協力を得て、平成25年度は「るいちゃん基金」への支援、26年度は「東北大震災復興」への支援、27年度は「鬼怒川の水害被災者」支援、28年度は「熊本地震の被災者」支援、29年度は「九州北部の豪雨災害」への支援、30年度は「北海道胆振東部地震」への支援、令和元年度は「台風15号による被災者」への支援を目的として開催し、毎年好評をいただきしっかりと地域に定着した催しとなってきました。コロナ禍の令和3～4年度は、万全の対策を取りつつ屋外での開催を実施したところ大変好評で、売り上げの一部を歳末助け合い共同募金に寄附させていただきました。5年度は、中庭の傷んでいたウッドデッキが綺麗に修復されたこともあり、感染対策と合わせて屋外での実施となりました。前年度同様に売り上げの一部を歳末助け合い共同募金に寄附させていただきました。6年度は、センター周辺への宣伝効果もあり来場者が多く大いににぎわいました。売り上げを能登半島災害被災者への義援金としました。今後も支援を目的として、地域の期待に応えたフリーマーケットを開催してまいりたいと考えています。
パン工房の運営	諸般の事情により、平成29年3月末で休業しています。 なお、市内の障害者事業所による週2回のパン販売を実施しており、利用者の方も大変喜ばれています。

6. 指定管理者の自己評価

- ① 入館利用証の磁気カード方式は9年が経過し、利用者にはすっかり定着しているところですが、事務処理も効率化され、外部からの問い合わせなどに対しても利用者の動向把握がより容易に正確に行えるようになっていきます。ただ時間の経過とともに磁気カードの経年劣化がすすみ、不具合が発生すること増えており、新しくバーコード方式のカード導入の準備をすすめているところです。
また、美しいトイレをより長く維持管理していくため、便器周りのマットを増やし、トイレ清掃を専門業者への委託することを検討中です。
- ② コロナ禍の影響もあり、新規の利用登録者は微増で推移しており、同好会活動や各種イベントも制約を受けましたが、全体としては概ね満足していただいていると考えています。なお、浴場については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「高齢者の施設であるからこそ感染予防には慎重になる必要がある。浴場は窓を開けての換気ができず、どうしても感染リスクが高くなるため、再開しない。」との方針で来ましたが、現在箕面市と協議のうえ、今後の浴場の運営について、広くご利用者からアンケートを取っているところです。もし風呂再開の場合は、まず安全安心の確保が最大の課題であると考えています。
- ③ 備品によっては老朽化による入替えの必要性があります。利用者に人気の高いヘルストロンはほぼ毎年1台ずつ市が新規設置しているところですが、現行機器のメンテナンス終了時期を迎え複数台の新規設置が望まれます。また課題としては、ウォーキングマシンやバイクなどの健康器具は不特定多数の方が頻繁に使用することから生じる機器の故障が多発するという点があります。
- ④ コロナ禍での来館者減少期には表面化しませんが、通常期の駐輪場は單車と自転車混在する慢性的な満杯状態であり、事故が起きる前に早急に駐輪スペースを拡張する必要があり、市からの予算拠出を望みます。また経年劣化により白色のラインが見にくくなっており改善が求められています。（とくに夜間時）
- ⑤ コロナ禍で活動に制約を受ける中、松寿荘事業につきましては、利用者協議会と月1回の定例会を中心に緊密な連携を取りながら進めており、コロナ等の感染症対応についても同様です。新規加入がしにくい同好会があるとの声があります。どなたに対してもいつでも公平・公正な同好会であるように、定例会の場で全体への注意喚起を行うとともに、必要に応じて個別の同好会に対して理解・協力を求めているところです。さらに、今後の同好会のあり方と関連して同好会活動への利用料減免方法についても引き続き課題提起を行い検討事項とします。
- ⑥ おひさまルームは、新型コロナウイルス感染症の一定収束に伴い、一度に利用できる人数や時間等の制限を段階的に緩和しました。
プログラムについては次の通りです。それぞれ8組定員ですが、「歯科衛生士のお話」に関しては10月以降15組に増員して実施しています。
ベビーマッサージ：毎月1回実施
体操の先生と遊ぼう：4月、7月、11月実施
歯科衛生士のお話：5月、10月実施（3月実施予定）
幼稚園副園長のお話：6月、9月、12月実施（2月実施予定）

また、7月～9月の月・金・土の午前中1時間は水遊びをしました。センター利用者との交流活動の一環として、6月はふれあいセンターまつりに参加、7月は七夕と一緒に飾り、9月は盆踊りにも参加して交流をはかりました。
（12月クリスマスウィーク、2月ひな飾り 実施予定）

環境整備においては、引き続き高機能換気扇、空気清浄機を使用し、冬場は加湿器を使用。スタッフは出勤時に検温・記録し、不織布マスクを使用。こまめに手指の消毒を行う。洗浄できない物は食品添加物アルコール製剤を噴霧してふき取り。その他の玩具は除菌ボックス（UV、オゾン）で毎日除菌。洗浄できる玩具は月2回界面活性剤入りの洗剤（厚労省推奨）にて洗浄し乾燥。洗浄や消毒により傷んだ玩具、設備の点検を行い、適宜新しい物を購入・設置。引き続き利用者（大人、子ども共に）の検温も記録して頂いています。